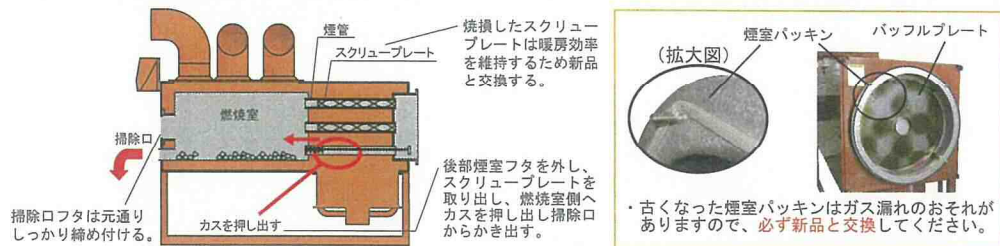


暖房機は**保守管理の不足**によって能力の低下を招くおそれがあります。

適切な**メンテナンス**や**調整**で、本来の性能を保つことが**省エネルギーの基本**です。

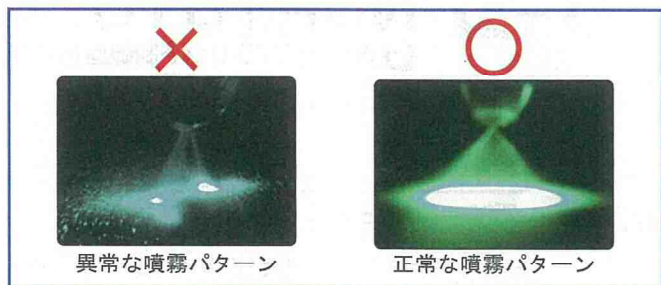
缶体掃除していますか？

A重油に含まれる不純物は燃焼後、缶体内に堆積します。燃焼カスが多く缶体内に堆積すると暖房機の熱効率の低下や、バーナの不完全燃焼の原因となります。**熱効率を維持**するためにも年に一度、暖房シーズン終了時に缶体の掃除を行いましょう。



ノズル交換していますか？

ノズルは高圧で油が噴霧するため、使用するうちに磨耗します。長時間使用すると、摩耗したノズルによって、燃焼状態の悪化による燃料のムダ使いや噴霧量の増加によって缶体寿命を損なうおそれがあります。**故障の予防・缶体の延命のためにも、ノズルはシーズン前に交換**をしましょう。



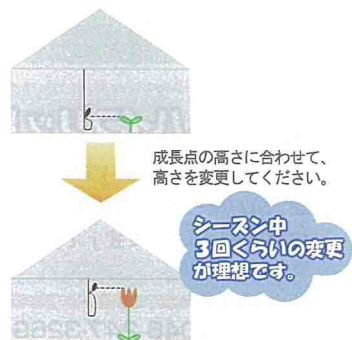
ノズルチップ ノズルストレナー

ノズル交換の目安(累積燃焼時間)
A重油の場合 約1,000時間
灯油の場合 約2,000時間

※ノズルは噴霧圧力と共に、各機種(熱出力)別にサイズが決められています。機種に合ったノズルを使用してください。

暖房機の温度センサーの注意点

- 温度センサーが正常に作動しているか確認する
暖房機は、設定された温度になるよう自動運転しますが、室温センサーが感知する温度が暖房機の運転・停止を決定することになります。
- 温度センサーの位置は成長点付近の高さにする
作物の成長に合わせて高さを変えることをおすすめします。
- 暖房機のダクトの吹出口付近に設置しない
室温センサーが急激な温度変化を感知するため、温室内を適正温度で管理することができません。また、暖房機が頻繁に運転・停止を繰り返すことにより故障の原因につながります。



ダクト敷設の注意点

- 送風したときのダクトの張りがパンパンの状態では、**通風量が不足**しています
ダクトの接続口から1mくらいの位置で軽くダクトを押して2~3秒で再度ふくらむ程度が良い状態の目安です。
- コーナー部分を直管ポリダクトの折り曲げで使用しないでください
風量大幅ダウン
ダクトを折り曲げて使うと、内側の折れ曲がり部分が邪魔になり通風量が減少し効率低下や温度ムラ・機械停止などの不具合を招きます。曲がり部分には、**専用のコーナーダクト**を使用してください。
- ダクトは必要本数と太さを守ってご使用ください
暖房機から出る温風を効率よく循環することができます。



ダクト折り幅と必要本数

主ダクトサイズ	低床タイプ・チャンパータイプ				エルボタイプ	
	400 (250)	475 (300)	550 (350)	600 (400)	475 (300)	550 (350)
HK1527	6本	4本	-	-	3本	-
HK2027	8本	6本	-	-	4本	-
HK3027	9本	14本	10本	6本	4本	6本
HK4027	9本	16本	12本	8本	6本	8本
HK5027	11本	22本	16本	10本	8本	6本
HK6027	11本	26本	20本	14本	10本	8本

※ハウス形状により異なる場合があります。

ダクトの分岐には枝つきダクトをおすすめします！



- 効率のよい送風
送風抵抗が少なく、無駄なくハウス内に温風を拡散できます
- 省力化
子ダクトは専用テープで簡単につなげます
- 長寿命
長寿命でダクト張り替えの手間も解消しコストダウン
- オーダーメイド
ハウスの状況・うね間に合わせます

エアシャッターの調整

バーナのエアシャッター(燃焼空気取入口)を調整することで燃焼状態が改善され**燃焼効率**が良くなります。エアシャッターは、開けすぎても閉めすぎても燃焼効率は低下しますので、下図を参考に煙突から排出される煙の色を確認してください。なお、調整作業は専門業者にご相談ください。

